



平成 28 年 5 月 26 日

各 位

会 社 名 ヤマト インターナショナル株式会社
代 表 者 名 取締役社長 盤 若 智 基
(コード番号 8127 東証第一部)
問 合 せ 先 取締役 常務執行役員
経理部長兼 IR 室長 高 橋 俊 輔
TEL (03) 5493-5629

特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、平成 28 年 8 月期において、下記のとおり特別損失を計上することといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 東京本社の有効活用による東京本社不動産（東京都大田区平和島 5 丁目 1 番 1 号）の特別損失の計上について

当社は、現在当社が所有する東京本社ビルにつきまして、経営資源の有効活用を目的に、賃貸事業を拡大し、東京本社ビルの自用の一部を賃貸スペースに変更することといたしました。今後、東京本社ビルに占める当社東京本社の使用比率を総面積の 30%以下として運営してまいります。

これに伴い、当社が所有する東京本社の土地及び建物等の有形固定資産等は、共用資産から賃貸不動産に用途変更となり、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき減損処理を行い、減損損失 25 億 10 百万円を特別損失に計上いたします。（平成 28 年 5 月計上）

なお、現段階において、本会計処理に実質的な支出は伴わず、当社のキャッシュ・フローに影響を及ぼすものではありません。

2. 大阪本社事務所の移転に伴う大阪本社等不動産（大阪府大阪市中央区博労町 2 丁目 3 番 9 号等）の特別損失の計上について

当社は、本日別途公表の「大阪本社事務所の移転に関するお知らせ」に記載のとおり、経営資源の有効活用と事業効率の向上を図るため、大阪本社事務所をデリポート（ロジスティックセンター）（大阪府東大阪市森河内西 1 丁目 3 番 1 号）内へ移転するとともに、現大阪本社は収益を生み出す賃貸物件として有効活用することといたしました。

これに伴い、当社が所有する大阪本社等の土地及び建物等の有形固定資産等は、共用資産から賃貸不動産に用途変更となり、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき減損処理を行い、減損損失 4 億 50 百万円を特別損失に計上いたします。（平成 28 年 5 月計上）

3. 石切倉庫（大阪府東大阪市西石切町7丁目1番地）の特別損失の計上について

当社は、現在当社が所有する石切倉庫につきまして、経営資源の有効活用と事業効率の向上を図るため、その機能を全てデリポート（ロジスティックセンター）へ移管するとともに、本物件は収益を生み出す賃貸物件として有効活用することといたしました。

これに伴い、当社が所有する石切倉庫の土地及び建物等の有形固定資産等について、共用資産から賃貸不動産に用途変更となり、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき減損処理を行い、減損損失90百万円を特別損失に計上いたします。（平成28年5月計上）

4. 早期退職優遇制度の特別募集に伴う特別損失の計上について

当社は、本日別途公表の「早期退職優遇制度の特別募集について」に記載のとおり、事業規模に合わせた人員の適正化を図るため、早期退職優遇制度の特別募集を実施することを決定いたしました。

これに伴い、特別加算金の支給及び再就職支援等について、3億80百万円を特別損失に計上いたします。（平成28年7月計上予定）

5. 業績に与える影響

平成28年8月期に計上する上記特別損失の総額は34億30百万円となります。

本件に伴い、平成27年10月9日に公表いたしました平成28年8月期の業績予想を修正いたします。本日、別途公表しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

以 上